

(新) 地域における市場メカニズムを活用した低炭素化推進事業<要望枠>

1,000百万円 (0百万円)

地球環境局地球温暖化対策課市場メカニズム室

1. 事業の概要

市民を巻き込んだ温暖化対策の充実の必要性や東日本大震災を契機とした電力需給逼迫への対応のため、地域ぐるみで地域の活性化も視野に入れつつ、市場メカニズムを活用した取組を行う先進事例が見られている。これを継続的な取組へつなげつつ全国的に広めていくことが必要である*。

このため、市場メカニズムを活用し、削減効果に応じて経済的インセンティブを付与する等の温室効果ガス削減等の取組を地域ぐるみで行うものについて、実施体制の構築・効果検証等を支援し、各地に普及できるよう取組手法の確立を図る。

* 「夏期の電力需給対策について」平成 23 年 5 月電力需給対策本部決定

「当面のエネルギー需給対策～エネルギー構造改革の先行実施～」平成 23 年 7 月エネルギー・環境会議決定

2. 事業計画

(1) 地域ぐるみの取組モデル事業

市場メカニズムを活用して地域ぐるみの排出削減の取組を行う事業について、事業の実施細則の策定、参加事業者等の募集や運営手続、削減効果の確認等に要する費用について支援する。

- ・モデル事業 600 百万円 (50 百万円×12 地域)
- ・事務費 50 百万円

(2) 排出量等管理システム整備

各地域における市場メカニズムを活用した取組に必要な排出量・排出削減量管理システム等の構築を支援するため、必要なインフラを整備する。

- ・システム構築・運営 350 百万円

3. 施策の効果

- 先行事例を基に課題・成果を共有・整理し、他地域でも活用可能な取組手法・評価手法の確立を図ることにより、取組の全国展開を目指す。
 - 費用効率的な取組の実証による地域の参加の促進
 - 課題・成果の共有、制度運営コストの低減
 - 地域を越えた連携のための共通的な基盤の整備
- また、市場メカニズムを活用して効率的に CO2 削減・節電活動等を促すことで、東日本大震災を契機とした電力需給の逼迫への対応を図る。

地域における市場メカニズムを活用した低炭素化推進事業

背景

市民を巻き込んだ温暖化対策の充実の必要性や東日本大震災を契機とした電力需給逼迫への対応のため、地域ぐるみで地域の活性化も視野に入れつつ、市場メカニズムを活用した取組を行う先進事例がみられている。

このため、これを継続的な取組へつなげつつ、全国的に広めていくことが必要。

事業内容

地域ぐるみの取組を支援

市場メカニズムを活用した温室効果ガス削減等の取組を地域ぐるみで行うものに対し、実施体制の構築・効果検証等を支援。

効果

先行事例を基に課題・成果を共有・整理し、他地域でも活用可能な取組手法・評価手法の確立を図ることにより、取組の全国展開を目指す。

- 費用効率的な取組の実証による地域の参加の促進
- 課題・成果の共有、制度運営コストの低減
- 地域を越えた連携のための共通的な基盤の整備

< 地域ぐるみの自主的な取組の例 >

